

「新しい生活様式」対応型こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2020
3班 しごと分野

こおりやま広域圏

自治体QUEST

～コーイキングスペースに導かれし官民の勇者たち～

【郡山市】高岡 景（職業：踊り子）

【田村市】大川原 一博（職業：船乗り）

【本宮市】高橋 亮（職業：吟遊詩人）

【鏡石町】仲沼 諒（職業：ゴットハンド）

【石川町】小豆畑 裕（職業：天地雷鳴士）

【小野町】大和田 和（職業：羊飼）

現状課題

自治体の課題
多様化・複雑化



単独での
解決困難

官民連携歓迎！
国でも推進



官民連携
強化の仕組み

テレワーク
進んでない



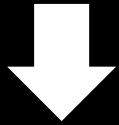
導入の課題
山積み

提案

自治体QUEST

★広域圏内で抱える課題に対し、官民が連携し、課題を解決する。

広域圏の課題



官民が相互に理解・協力し
課題解決



コワーキングスペース

★自治体と民間企業が連携し課題を解決する場

- ・官民の情報共有の場
- ・広域圏自治体のサテライトオフィス
- ・民間企業向けのコワーキングスペース
- …その他期待される機能多数!

効果

自治体QUEST

- 多様化・複雑化した課題に対して官民が連携することで、課題解決・事業創出が期待される。
- 官民連携することで「自助・共助」が強化され、こおりやま広域圏の活力につながる。

コイキングスペース

- 地域・自治体の課題を実際に見て、官民で気軽な情報交換により、お互いの「分からない」を共有することができる。
- テレワークのメリット・デメリットの整理により、広域圏内のテレワーク導入の後押しとなる。